

飲酒運転撲滅宣言企業 西鉄運輸 株式会社



○ 西鉄運輸 株式会社 様の紹介

西鉄運輸株式会社は、“最も優先されるのは「お客様の安全」である”という西鉄グループ共通認識のもと、輸送の安全確保の重要性を深く認識し、全社員一丸となって輸送の安全性の向上に取り組んでおります。

福岡県を基盤とし、関東地区までトラックによる商品輸送は勿論、倉庫業、センター運営と総合物流企業としてお客様へ‘あんぜん’‘あんしん’を提供できるような日々の業務に取り組んでおります。



○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ◆ 飲酒運転撲滅計画を策定し、社員に対する研修等を実施しています。
 - ・ 毎年度飲酒運転撲滅運動取組計画を策定し、計画に基づく、DVDの視聴及びハンドブックの活用など飲酒運転撲滅の取組を実施しています。
 - また、西鉄グループでは、毎月1日を「飲酒運転撲滅強調の日」と定めており、西鉄運輸では、社長及び役員、管理職による各店所の早朝点呼、朝礼、昼間点呼等に立会し、アルコール検知手順や検知器の点呼状況の確認等を通年継続しています。
- ◆ 組織的な飲酒運転撲滅の管理体制を整備しています。
 - ・ H28年度から安全推進部を新設し、CSR推進体制による飲酒運転等の抑止対策を図っています。
- ◆ 従業員等への広報啓発活動を行っています。
 - ・ 飲酒運転撲滅を呼びかける社内広報誌の発信による周知を徹底しています。
 - ・ 全事業所長が出席する全体会議、安全推進会議を開催し、飲酒運転の撲滅等を討議しています。
 - ・ 各店所での安全推進会議、班別ミーティングでの飲酒運転撲滅・適正飲酒に関する討議を実施しています。
- ◆ 従業員等が業務上飲酒運転を防止するための取組を実施しています。
 - ・ 乗務員の出勤時・業務終了後のアルコールチェック、電話による中間点呼を実施しています。
 - ・ 涉外車の運転者への上長の飲酒検査立会をしています。
- ◆ 従業員等への社内研修を実施しています。
 - ・ 社員研修において飲酒運転撲滅教育を実施しています。
 - ・ 県警察の警察官を招致し飲酒運転撲滅講話を実施しています。
- ◆ その他の取組
 - ・ 博多警察署、博多交通安全協会等の実施する四季の交通安全キャンペーンに参加しています。
 - ・ 安全目標・行動計画に飲酒運転の撲滅（アルコール異常値検出ゼロ）を掲げ、各店所に掲示しミーティングの際に討議をしています。
 - ・ 事故防止マニュアルに飲酒運転禁止の項目を設定し、飲酒運転の防止を図っています。
 - ・ 自動車学校での運転者教育における飲酒運転撲滅教育を実施しています。
 - ・ 西鉄グループ飲酒運転撲滅大会に参加しています。



階段に飲酒運転「3ない」の誓いを貼ることで飲酒運転撲滅の意識向上に努めています。

○ 西鉄運輸 株式会社 様にインタビューに答えていただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 西日本鉄道（株）が先行してアルコール検知器を導入し、運輸事業に係るグループ会社もアルコール検知器を導入する流れになりました。西鉄運輸も2007年7月に車両を保有する全事業所に導入しました。



出勤時・業務終了後にアルコールチェックを実施します

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A アルコール検知器を導入直後は、アルコールが残っている自覚のない乗務員等がおり、運行管理者は非常に大変な思いもしました。残念ながら、取組についていけず、退職する方もいましたが、ほとんどの乗務員はこの取組に賛同してもらい飲酒を控える乗務員も出てきました。今でも乗務員に対し、年2回の飲酒習慣の確認と営業所の責任者による個人面談等を行い、注意喚起を行うとともに小集団活動において、飲酒機会の増える時期等はお互い注意しあうことでコミュニケーションを取っています。乗務員自体も顧客へ迷惑をかけないことは基より家族を守るために自主的に運行前日の飲酒は控えるなど継続的な取組が意識向上につながっております。

Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 飲酒運転はたった1回の判断ミスが、人生を大きく変化させる事案になります。本人の自覚は勿論ですが、会社として顧客に迷惑をかけないこと、従業員を守ること更に従業員の家族に悲しい思いをさせない為にも、今行っている取組をしっかりと継続し、飲酒運転の根絶へ対応してまいります。